

住環境デザイン学科 授業科目ツリー

この授業科目ツリーは学科のカリキュラムポリシーに基づいた体系的な履修を促すため、学科学生の皆さんが身につけるべき知識・能力と授業科目との間の対応関係を示したものです。
 なお、全体像を把握し易くするため、一部の授業科目において履修学期を省略して記載しています。詳細は履修申請要領を参照して下さい。

【科目水準の目安】

授業科目ツリー内で破線で囲まれた部分は同じ科目水準にあることを示しています。科目水準の目安は右表の通りです。

科目水準	水準の目安
0	大学入学前に修得すべき内容を扱う科目、卒業要件外の科目
1	初級レベル、入門・導入的位置づけの科目
2	中級レベル、発展的・応用的内容を扱う科目
3	上級レベル、実践的・専門的に高度な内容を扱う科目
4	学士課程で学修する最終段階の水準の科目(卒業研究等)
5	大学院修士(博士前期)課程の授業科目
6	修士論文作成指導科目
7	大学院博士(博士後期)課程の授業科目
8	博士論文作成指導科目

科目区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	コース選択		研究室配属	
					前期	後期	前期	後期
人文科学系	文学から学ぶ 人間力と心理	心理と社会	実践の思想 歴史に学ぶ 人文地理学	哲学から学ぶ				
社会科学系	法学入門 経済学入門	日本国憲法	社会の仕組み	日本の政治 企業経営 マーケティング 産業社会と知的財産 国際理解概論				
自然・科学技術系			科目水準 2		科学技術教養 V~C	科学技術教養 I 産業技術史		
英語系、外国語系	基礎英語 Ia 基礎英語 Ib	基礎英語 IIa 基礎英語 IIb	実践英語 Ia 実践英語 Ib 海外語学研修	実践英語 IIa 実践英語 IIb	英語基礎会話a 技術英語	英語基礎会話b 科学英語		
日本語系	日本語読解	日本語表現 I	コミュニケーション I	コミュニケーション II				
数理・情報系	情報リテラシー I							
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II			インターンシップ			
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	スポーツ科学実習 II	生涯スポーツ実習 スポーツと健康					
地域志向系	地域と私 北河内を知る	ソーシャル・イノベーション実務総論	摂南大学PBLプロジェクト I	摂南大学PBLプロジェクト II	地域貢献実践演習			
共通基礎系	大学教養入門	大学教養実践	就職実践基礎					
教養特別系	教養特別講義 I ~ V							
特定学生対象科目群			外国人留学生対象科目				帰国学生対象科目	

必修

選択必修

選択

科目区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					コース選択		研究室配属	
専門基礎群	数学系		基礎数学演習 → 微積分Ⅰ(指定クラス) → 微積分Ⅱ(指定クラス) 微積分Ⅰ → 微積分Ⅱ 線形代数Ⅰ → 線形代数Ⅱ 工業数学Ⅰ → 工業数学Ⅱ 幾何学Ⅰ → 幾何学Ⅱ 代数学 → 解析学 統計学 科目水準 1					
	科学系		物理学基礎演習 → 物理学 基礎力学演習 → 力学 生物学 → 化学 科目水準 2					
	実験系		理工学基礎実験 → 物理学実験 化学実験					
	情報系		統計情報処理					
専門科目	共通系		住環境デザイン概論 → 図形科学 居住安全計画 → デザイン方法論 福祉住環境学 → コミュニティプランニング 科目水準 3		建築法規 → 住環境倫理 住環境マネジメント			
	環境デザイン系		住環境工学A → 住環境工学B → 住環境設備 住環境工学A → 構造力学Ⅰ → 構造力学Ⅱ 住環境工学A → 住環境材料学 建築一般構造学 → 構造デザイン論 → 住環境材料学 環境設備計画A → 環境設備計画B 住宅生産学 ランドスケープデザイン論					
	空間デザイン系		住生活学 → 建築計画学 → 地域・都市計画学 近代デザイン史 → 西洋建築史 → 日本建築史 建築デザイン論 → インテリアデザイン論					
少人数教育群	演習系		造形演習 → 基礎設計演習 → 設計演習Ⅰ → 設計演習Ⅱ → 設計演習Ⅲ 空間表現演習A → 空間表現演習B インテリアデザイン演習 環境工学演習 デザイン方法演習 サステイナブルデザイン演習		環境工学演習 デザイン方法演習 サステイナブルデザイン演習 設計演習Ⅲ 科目水準 4			
	ゼミ系		ゼミA → ゼミB → ゼミC → スタジオ → 卒業研究					